

■基本目標 I 男女の人権が尊重される視点を育む環境づくり

○女性委員不在の審議会等の解消、あて職の見直しと公募の拡大

審議会等委員への女性の登用推進方策に基づく、女性人材リストの活用と事前協議書により審議会等の女性割合向上に努めている。

令和3年度においては、役職指定等のため女性委員の委嘱が困難な審議会の設置があったこと、また、これまで事前協議書を提出していない部署や女性比率の算定に含めていなかった審議会等があったことから、改めて女性登用状況について精査した。

その結果、令和3年4月1日現在の審議会等数は57(令和2年度54)、女性委員のいる審議会等数は52(令和2年度49)となり、女性比率は4.4%減少した。

(釜石市各種審議会等の女性登用状況)

項目	令和3年4月1日現在 ①	令和2年4月1日現在 ②	差①-②
審議会等数	57	54	3
うち女性委員のいる審議会等数	52	49	3
女性委員不在の審議会等数	5	5	0
延総委員等数	714	584	130
延女性委員等数	274	250	24
女性委員等比率(%)	38.4	42.8	△4.4

○女性活躍推進セミナーの開催

女性のキャリア形成やリーダーの育成を目的として、岩手大学主催、釜石市共催により「女性のキャリア形成支援プログラム 2021」を実施した。当市を会場とした地域開催では市内事業所等から2名をゲストとして招き、事例紹介やゲストとのグループトークを行った。

◇実施内容

ゲスト：株式会社 北日本銀行小佐野支店  
支店長代理 菊池 智子 氏  
釜石市保健福祉部地域福祉課  
課長補佐 岩鼻 千代美 氏

開催日時：令和3年9月13日(月) 13:30~16:00

会場：イオンタウン釜石2階

しごと・くらしサポートセンター

受講者：10名(うちオンライン参加者8名)

## ■基本目標Ⅱ 多様な視点・意見を取り入れた防災やまちづくりへの男女共同参画への推進

### ○男女共同参画サポーター養成と活動支援

県では、男女共同参画サポーターに興味・関心があり、男女共同参画の推進活動に意欲のある方を「男女共同参画サポーター（岩手県知事認定）」として養成し、県内各地域における男女共同参画に向けた気運の醸成と活動の促進を図ることとしている。当市ではこれまで41名が認定されており、令和3年度さらに1名が認定され42名となった。

（※男女内訳・・・女性35名、男性7名）

また、例年開催される岩手県男女共同参画センター主催の男女共同参画フェスティバルが新型コロナウイルス感染症の影響によりオンライン開催となったことから、オンライン環境が整わない市民を対象に、フェスティバルの際に行われた基調講演の上映会を実施した。

#### ◇ 実施内容

演題：「笑って考えよう！ひとり一人の幸せのために

～性別による固定的な役割分担をなくそう いわて宣言～}

講師：東京大学大学院 総合文化研究科

教授 瀬地山 角 氏

開催日時：令和3年11月2日（火）13：30～15：10

会場：市役所第2会議室

受講者：11名

### ○多様な視点を取り入れた防災力向上セミナーの開催

男女共同参画サポーター養成講座の地域開催講座として岩手県男女共同参画センターと共催で、「男女共同参画の視点から復興・防災に関する研修会」をオンライン開催した。

当初は当市の鵜住居公民館がサポーター養成講座の地域開催予定地となっていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催方法がオンラインへ変更となった。また、オンライン環境が整わない市民を対象に、セミナーの動画上映会を実施した。

#### ◇実施内容

演題：「東日本大震災から10年

女性の視点から考える復興と伝承 ～防災・減災について～

講師：仙台市地域防災リーダー 福住町町内会防災・減災部長

せんだい女性防災リーダーネットワーク代表 大内 幸子 氏

開催日時：令和3年11月2日（火）13：30～15：10

会場：市役所第2会議室

受講者：4名

## ■基本目標Ⅳ 女性の一生涯の健康と安全の支援

### ○女性への暴力根絶講座の開催

内閣府が設定する「女性に対する暴力をなくす運動期間」(11月12日～25日)に合わせ、岩手県沿岸広域振興局の後援によりパープルセミナーを開催した。

DVに関する基礎知識、岩手県内のDVの現状のほか、DVを起因とする子どもに対する影響などについて学んだ。

#### ◇実施内容

演題「DVを知ろう」

講師：岩手県男女共同参画センター  
センター長 山屋 理恵 氏

開催日時：令和3年11月18日(木) 13:30～14:45

会場：釜石市民ホール TETTO ホール B

参加者：29名

### ○DV防止の啓発活動

「女性に対する暴力をなくす運動期間」(11月12日～25日)と、児童虐待をテーマとしたオレンジリボン運動を併せ、女性と子どもに対する暴力の根絶に関する啓発活動として、イオンタウン釜石において啓発パネルの展示を行った。

また、当該運動期間中、釜石市民ホール TETTO を当該運動のシンボルカラーのパープルにライトアップした。

### ○デートDVの予防啓発

スマートフォン、LINE等のSNSの普及が急速に進んでいることを背景に、将来子ども達が暴力被害者にも加害者にもなることを防ぐことを目的に、市内中学校を対象に予防啓発講座を実施した。

お互いを尊重しあえるコミュニケーションについて学び、コミュニケーションの取り方がデートDVの予防にもなることを学んだ。

#### ◇実施内容

演題：「お互いを尊重しあえるために」

講師：岩手県 BBS 連盟  
佐々木 一憲 氏・竹田 千晶 氏

開催日時：①令和3年6月30日(水) 14:45～15:35

②令和3年7月12日(月) 13:30～14:20

受講者：①唐丹中学校 全校生徒16名 教職員6名

②釜石中学校 3年生96名 教職員7名

○思春期講演会の開催

「性」を人権の問題、人間の生き方に関わる問題として捉えることができ、自己管理・自己決定できる人間として育つことを目的として市内中学校の生徒を対象に思春期講演会を実施した。

◇実施内容

演題：「思春期の心とからだについて」

講師：岩手県立二戸病院 院長 小笠原 敏浩 氏

開催日時：①令和3年10月7日（木）13：30～14：40

②令和3年12月17日（金）13：35～14：45

受講者：①釜石東中学校 2・3年生 68名 教職員 7名

②甲子中学校 全校生徒 125名 教職員 8名